

植物とのふれあい・学び

発行：理学研究科・植物管理室 2015年8月

植物管理室では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

付属幼稚園による田植え

広島大学付属幼稚園の年長組による田植えが生態実験園において行われました。



ほとんどの子どもたちが初めての田植え体験です。慣れない手つきでしたが、次第に上手になってきました。

植物学教室のお兄さんやお姉さんがいっしょに手伝ってくれました。大学生にとっても、田植えは貴重な経験です。



今年も、古代米の紫米とあきろまんの2品種を育てます。

7月には、年中・年長組のみんなが稲の生長を見に来ました。



山口植物学会のみなさん

山口より見学者来園

5月22日に山口県より6名の方が見学に来られました。みささん、植物学会の方だけあって、非常に活発な意見が飛び交いました。温室の植物を見た後、植物遺伝子のソテツ温室・生態実験園・総合博物館も案内をしました。また、いろいろと植物について教えていただきました。

ひまわり保育園のさつまいも

6月12日、ひまわり保育園の園児たちがサツマイモの苗を植えました。



エンドウ豆の収穫にも挑戦しました。みんな楽しそうに取っていました。

植物管理室では、大学に関わる子どもたちへの自然体験学習の支援を行っています。子どもたちは、土と触れ合うことで、何かを学びとります。秋には「いもほり」です。

栽培実習・27年春コース



27年春コースは、カボチャ・トマト・ウモロコシ・エダマメ・ピーマン・ナスを作りました。暑い日もありましたが、みんな美味しい野菜を作るため、がんばりました。



実習では、種まきやうね作りなど、作物作りのすべてを体験します。



オオガハスの花が咲きました



東京大学付属生態調和機構の圃場より分譲を受けたオオガハスの花が今年の6月に花を咲かせました。植物管理室では、自然交配をしないようにハスの実がつくとすぐに切って株による保存を行っています。



「大賀ハスは、縄文時代に咲いていた古代ハス」

ハスの花は、早朝から開き始め、午前中に満開になります。花は数日で散ってしまいます。

園内の花

アメリカハナスオウ *Cercis canadensis*



マメ科ハナスオウ属アメリカ原産の落葉樹。花の色は淡い紅色で蝶形の花を枝に直接つける。満開時には、枝全体が紅紫色で覆われる。

園内の花

オオバボダイジュ *Tilia maximowicziana*



シナノキ科シナノキ科属。東北から北海道にかけて分布する落葉高木。釈迦が悟りを開いたと伝えられるインドボダイジュとは、全く別種。



【お問い合わせ先】

広島大学理学研究科
植物管理室

TEL: 082-422-7111
(内線2842)

E-mail: plantman@sci.hirosima-u.ac.jp